

# 渋川医療センター

## 広報誌



令和8(2026)年度新採用者・異動者および幹部職員

### 基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携し、その役割を果たします

### 基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児(者)の専門病院として社会に貢献します
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます

### 【目次】

新年度のご挨拶	1
副院長就任のご挨拶	2
令和8年4月1日付辞令交付式について	3
パープルデー(てんかん啓発の日)ライトアップを実施しました	4
寄付者へのお礼	4
<b>職場紹介</b>	
歯科衛生士	5
<b>認定看護師紹介</b>	
感染管理認定看護師	6
<b>シリーズ</b>	
●患者さんにとって耳よりな情報 ～身近にあった!日々の家事で脳トレーニング～	7
「病気になっても自宅ですごしたい!」を支援します	8
●外来診療担当医表	9
●セカンドオピニオン担当医表	11
●患者さんの権利	11
●看護の理念、看護の基本方針	11
●編集後記	11

# 新年度のご挨拶

院長 たかはし 高橋 あきお 章夫

渋川医療センターは、2026年3月26日で開院10周年を迎えることができました。これは一重に皆様のご支援の賜物であり、職員を代表し心から御礼申し上げます。

前号でもお伝えしましたが、開院10周年記念として、渋川医療センターが皆様にとってより親しみやすい存在になるように、マスコットキャラクター「しぶりい」を作成いたしました。渋川市の花であるあじさいの妖精<sup>フェアリー</sup>で当院の目指す「優しく患者を支える先進医療 Advanced medicine, human touch」の象徴です。しぶりいは、病院の様々な活動の場面で形態を変えて登場します。どうぞお見知りおきください。

当院は地域の基幹病院として急性疾患に対応するとともに、重症心身障害児(者)や結核、緩和ケア病棟を有するケアミックスタイプの病院です。強みの一つであるがん診療では、2023年に導入された手術支援ロボットを用い、消化管や肺、前立腺のがんで低侵襲かつ高精度の手術が行われています。悪性リンパ腫や甲状腺がん、乳がんでも高い水準の医療を提供しており、多職種によるチーム医療で患者とその家族を支える、がんの包括的診療を受けることができます。がん以外にも、様々な専門的な医療を行う疾病センターや診療科があり、県央部にいなくても地元で気軽に高度な医療をうけることが可能です。

この北毛地域で暮らし、当院を頼りにする皆様を取り残さず、良質な医療を届け続けることが当院の重大な使命であります。とりわけ様々な疾患を抱える高齢者の医療において、急性期から慢性期まで、地域のクリニック、病院と連携しながらシームレスにサポート可能な病院を目指し、スタッフや設備の拡充を図ってまいります。国立病院機構の理念に従いながら、患者さんと優しく向き合い、「共に考える医療」を推進していきますので、何卒ご支援くださいますようお願い申し上げます。



# 副院長就任のご挨拶

副院長 よしなり 吉成 だいすけ 大介

2026年4月より副院長を拝命いたしました吉成大介です。どうぞよろしくお願いたします。

私は茨城県出身で、群馬大学医学部を卒業後、主に群馬県内の医療機関において消化器外科医として診療に携わってまいりました。2016年4月の渋川医療センター開院にあわせて当院に赴任し、これまで10年間、地域の皆様に質の高い医療を提供できるよう努めてまいりました。今後も、これまで育てていただいた群馬県の皆様に恩返しができるよう、医療に尽力してまいります。



私はウィンタースポーツを趣味としており、冬には片品村や嬭恋村方面へ出かけることも多くあります。その中で、当院が北毛地域の皆様にとって身近で重要な医療機関であることを日々実感しております。遠方の医療機関への通院は大きなご負担となるため、当院において多くの疾患の診療が完結できる体制づくりが重要と考えております。

当院は、がん治療をはじめとする専門医療に加え、救急医療、結核医療、重症心身障害児(者)医療、新興感染症への対応、災害医療、そして増加する高齢者救急医療など、幅広い役割を担っております。地域医療支援病院として、地域の医療機関の皆様と緊密に連携し、それぞれの役割を尊重しながら、患者さんにとって最適な医療が提供できるように努めてまいりたいと考えております。



ロボット手術中

患者さんや医療機関の皆様がお困りの際には、安心してお気軽にご相談いただける存在でありたいと願っております。

今後は副院長として院内全体に目を配り、すべての患者さんが安心して治療を受けられる環境づくりに努めるとともに、地域の医療機関の皆様との連携をさらに深めてまいりたいと思います。また、職員にとっても働きやすい病院となるよう力を尽くしてまいります。引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 令和8年4月1日付辞令交付式について

管理課 給与係 小林<sup>こばやし</sup> 航<sup>わたる</sup>

令和8年4月1日の朝。車に乗り、病院へ向かおうと道へ出ると駅の方へ歩いていく少しぎこちない様子のスーツ姿。入社したての頃の自分と重ね合わせ、当時新しい環境に胸を躍らせ、期待と少しの緊張を胸に歩んでいたことを思い出し、こうしてまたこの日を迎えられることに喜びを感じました。あいにく天気には恵まれないものの病院入口付近の桜は例年通り鮮やかに咲き誇り、春の訪れを告げるとともに新たな一歩を踏み出す方々を歓迎しているかのように感じました。

そんな中、当院での辞令交付式は新採用職員、院内外の異動、昇任含め計85名の方々を対象に執り行われました。

式の中では辞令を受け取り、席に戻った後、配属先の部署・病棟を確認し、期待と不安でソワソワしている様子が見られ、自身の役割を認識する場になったように思いました。。

今年度から職員が首から掲げている名札にマスコットキャラクターである「しぶりい」のイラストを加え、参加した職員が式当日着用し、より新年度の始まりを感じさせる式になったと感じました。

私自身今年度で現在の係が2年目となりますが、周囲の方々の異動によって環境が変化し、昨年度とはまた違った苦労や大変さを感じております。この式をきっかけに参加者同様自分自身も新たなスタート地点に立っていることを再認識し、昨年以上に周囲との結束力を深め業務に取り組むよう励んでいきたいと思っております。

最後になりますが、新たな職員を迎えた今年度も渋川医療センター一丸となって地域の皆様に必要なとされるよう、患者さんの気持ちに寄り添った安心・安全な医療の提供を目指してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



高橋院長の挨拶



辞令交付式の様子



高橋院長から吉成副院長への辞令交付



高橋院長から小林統括診療部長への辞令交付

# パープルデー(てんかん啓発の日)ライトアップを実施しました

経営企画室長 すずき 鈴木 かずや 和也

今年で3年目になる、渋川市と共同で「パープルデー」(てんかん啓発の日)の関連イベントとして、渋川市内の伊香保温泉石段街だんだん広場でのライトアップを、3月26日(木)のパープルデー当日の18時から20時まで実施しました。

「パープルデー」とは、毎年3月26日に行われている世界的なてんかん啓発の日です。てんかん患者である当時9歳の少女がカナダで始めたイベントで、「てんかんを持つ人を一人ぼっちにしない」という思いを込めて「紫色のもの」を身に着けて、「てんかん患者さんを応援する活動」です。

てんかんは脳が一時的に過剰に興奮することで、意識消失やけいれんなどのてんかん発作を繰り返し引き起こす病気のことです。人口千人あたり5~8人の患者さんがいると言われています。当院ではパープルデーに賛同し、楽しみながらてんかんへの理解を深めてもらう活動を行うとともに、てんかん患者さんへの応援のメッセージとしてライトアップを行っています。また、院内ではてんかん支援拠点病院としての役割を紹介するパネルの掲示も昨年に引き続き行いました。

当日はあいにくの雨天となりましたが、写真のとおり、雨で濡れた地面にもライトの光が反射し、また中央に流れる温泉のスモークによって、幻想的な雰囲気に包まれました。事前の告知と、3年目で定着したこともあってか、ライトアップを目当てに石段街を訪れる方もたくさんおり、観光客も多くの方が驚きつつ立ち止まって写真撮影をされるなど興味をもって見ておられました。これを機会に、てんかんについて楽しみながら多くの方が知識を得るとともに、理解を深めていただければと思います。

当院では2021年7月に群馬県のとてんかん支援拠点病院に選定され、2022年4月1日から、複数の診療科、多職種による集学的診療を行うてんかんセンターとして活動を行っております。てんかん専門医、てんかん診療支援コーディネーターを中心に診療を行っておりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



## 寄付者へのお礼

心温まるご支援をいただき誠にありがとうございました。

皆様のご意向に沿いますよう、有効活用に努めてまいりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ご寄付をいただいた際に公表をお許しいただいた方のみを掲載しています。

茂木 正弘 様(渋川市)

## 歯科衛生士

おくだ かなこ  
歯科衛生士 奥田 加奈子

歯科衛生士とは国家資格を持つ口腔ケアのスペシャリストです。

当院歯科口腔外科では2名の歯科衛生士が在籍しており患者さんのお口の健康守ることにより、全身の健康をサポートしています。



### 🦷 手術前後の口腔ケア

がん治療などの全身麻酔を必要とする手術において、手術前後の口腔ケアが誤嚥性肺炎の予防や、入院日数の短縮など手術後の回復に好影響を与えることが分かってきています。そのため、手術前にお口の環境を整えておくことはとても重要です。当院では、かかりつけ歯科医院と連携しながら手術前後に歯科衛生士による口腔ケアを行っています。

### 🦷 抗がん剤・放射線治療・緩和ケアの患者さんのお口のケア

抗がん剤治療などに関わる患者さんはお口のトラブルが起きやすく、その原因に口腔内細菌がかかわっていることが多くあります。口腔内は細菌が多く汚れやすいため、清潔に保つ必要があります。そのため歯科衛生士による専門的口腔ケアや、日々の口腔ケアの指導を行っています。

### 🦷 口腔外科手術のアシスタント

当科では難抜歯や口腔粘膜病変、歯性炎症や外傷などの口腔内疾患に対応しています。歯科医師が安全で円滑に手術が行えるよう準備をしアシスタント業務を行っています。



### 🦷 当院重症心身障害病棟患者さんのメンテナンス

当院に入所されている方々の歯石取りを中心とした口腔ケアを定期的に行っています。看護師と連携しながら患者さんの口腔環境改善のため、日々の口腔ケア方法などの指導も行っています。

## 感染管理認定看護師



感染管理室

しのはら ゆり  
篠原 友理

感染管理室に所属しております、感染管理認定看護師の篠原です。

私は専従看護師として、患者さんや職員、病院を訪れるすべての方々を感染症の脅威から守ることを使命に活動しています。

感染対策において何より大切にしているのは、マニュアルの遵守を求めだけでなく「現場の状況に即した最適解」を見出すことです。医療現場では、患者さんの病態やケアの内容によって、理想的な対策が実施困難な場面も少なくありません。そうした際も、「感染から守る」という本来の目的を見失わず、ケアの質を落とさずにリスクを最小限に抑える方法を、現場の職員と共に考えるよう心がけております。

専門的視点から根拠に基づいた対策を提案し、患者さんが安全に療養し、職員も安心して医療に従事できる環境づくりに尽力してまいります。感染対策に関する悩みや疑問があれば、いつでもお気軽にご相談ください。

6階東病棟

たかい そう  
高井 聡

私は2023年に感染管理認定看護師の資格を取得しました。6階東病棟で業務を行いながらICTの一員として多職種と連携し、感染対策の向上に努めています。活動内容は、院内ラウンドの実施と各部署への結果のフィードバックに加え、6階東病棟での手指衛生の直接観察および評価結果の共有を行っています。

感染対策は患者さんや御家族、スタッフ等病院に関わる全ての人を感染症から守り、安心して過ごせる医療環境、労働環境を作ることです。常に学びを続け、皆様が安心して過ごせる環境づくりに貢献していきたいと考えています。

3階西病棟

ゆもと かおり  
湯本 かほり

私は2025年度感染管理認定看護師の資格を取得しました。現在は3西病棟で勤務しながら、感染管理の仕事を行っています。内容としては、手術部位感染や人工呼吸器関連肺炎、病棟での感染防止対策に関する相談を行っています。まだまだ活動して日が浅いですが、ICTのメンバーとして院内の感染症の予防と管理を行うことができるよう、大学や実習で学んだ知識を発揮して、先輩方と一緒に頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



# 患者さんにとって耳よりな情報



## ～身近にあった!日々の家事で脳トレーニング～

リハビリテーション科 作業療法士 やまぐち しゅんすけ 山口 俊輔

20数年前に発売されたあるゲームを発端に日本に脳トレブームが到来し、昨今では様々な書籍やアプリが散見されています。一方で、『脳トレゲームはそれに特化した能力は向上するが、似たような作業に効果は及ばない』とも言われています。私たちにとって有効な脳トレとはどのようなトレーニングなのでしょう。身近にできる脳トレとして、私は『家事』をおすすめします。英国の研究では『日常的に家事を行う人は、そうでない人と比べて認知症の発症率が21%低い』と報告されています。

また、米国では『家事の頻度が多いグループと比べ、頻度が減ったグループや元々少ないグループは認知機能の低下が速い』との報告もあります。

なぜ家事が有効なのでしょう。家事の特性を簡単にご説明します。

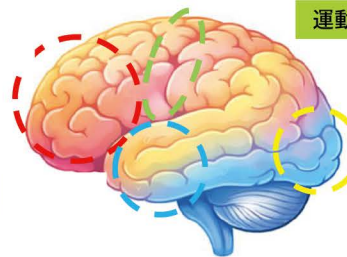
- 複雑な工程の中で、『計画⇒実行⇒修正』のプロセスを繰り返す
- 複数の作業を同時進行で進めていくシチュエーションが多い
- 頭(知的活動)、体や手先(身体活動)を同時に使う

これらは広範囲に脳を働かせるだけでなく、前頭葉と呼ばれる『脳の司令塔』が活性化します。前頭葉は高度な処理を行う領域であり、認知症とも密接な関係があります。

**前頭葉: 実行系 (計画立案や判断)**

💡 前頭葉の機能低下(萎縮)は認知症と強い関連があります。

**側頭葉: 聴覚情報の処理や記憶に関与**



**運動系: 体を動かす命令を出す**

**後頭葉: 視覚情報を処理する**

脳の活性化をさらに高めていく為には、どのように家事を行うかといった点も重要です。やり方次第で家事中の脳活動が低下していく恐れもあるのです。

### 【脳活動を低下させる家事】

- いつも同じ方法、内容の家事 (家事のマンネリ化)
- 効率化を重視しすぎて簡略化した家事

### 【脳活動を高める家事】

- レシピ本を読んで、普段と違うメニューにチャレンジ
- 余った料理を別のメニューへアレンジ
- 昔よく作ったメニューを再現してみましょう
- 『今日は家族の好きなもの』喜ぶ顔を思い浮かべて

家事を工夫する事の有効性を説明しましたが、日々の家事全てを工夫する事が良いとは言えません。頑張りすぎる事で生じる苦痛などのネガティブな感情は、脳の活性化には良くないのです。楽しく、わくわく、ポジティブな気持ちで、1日1回のアレンジを加えてみてはいかがでしょうか。

この記事に興味を持っていただけた方は、ぜひ本日の家事から取り入れてみてください。また、普段家事をされない方も、家事を行うことで脳の活性化が促せます。ぜひご家族様と一緒に家事を行ってみてください。

## “病気になっても自宅で過ごしたい!”を支援します

医療福祉相談室 ソーシャルワーカー <sup>やまうら</sup>山浦 <sup>みわこ</sup>美和子

病気になったことで体力が落ちて家事が大変になった時、毎日点滴が必要になった時、口から食べられず管から栄養を注入しなければならない時、動けず病院に通うことが出来ない時など、「もう自宅で過ごすのは無理だな」と考えたことはないでしょうか？

それは、患者さんとご家族だけの生活では確かに大変かもしれません。しかし、環境を整え、様々な支援を受けることで、“無理”を可能に出来る方もいます。

例えば、介護保険を利用して生活のサポートを受ける、看護師に訪問してもらい点滴や処置をしてもらう、地域の医師に自宅を訪問してもらい薬を処方してもらうなど、様々な支援を組み合わせることで住み慣れた自宅で過ごすことが出来ます。時には受け入れるご家族の覚悟も必要かもしれません。しかし、ご家族も含め、そのご家庭を支えていく体制を整えられれば、自宅で過ごすことも“無理”ではありません。

自宅での生活を支える人たちはそれぞれで動くのではなく、連携・協働して患者さんを支えます。患者さんの病状、どれくらい動けるか、近くでサポートしてくれる家族の状況、どのような環境か等を支援者みんなで共有することで、その人らしい生活を共通の認識で支えることが出来るようになります。

中には「人の世話になるのは嫌だな」と思う方もいるかと思います。しかし、長い間生活してきたご自宅には、家族との時間やたくさんの思い出が詰まっています。そんな大事な場所で過ごしていく方法をみんなで一緒に探してみませんか？



### 〈自宅で利用できる支援〉

#### ◆ 介護保険 ◆

身体介助・生活の支援（訪問介護、通所介護、福祉用具貸与等）を行います。ケアマネジャーが中心となりケアプランを作成します。

#### ◆ 地域包括支援センター ◆

地域で暮らす高齢者を介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援します。

#### ◆ 訪問看護 ◆

訪問看護ステーションの看護師が点滴や処置、全身状態の管理等を行います。

#### ◆ 訪問診療 ◆

通院が難しい患者さんのご自宅を地域の医師が訪問し、診察・処方等の対応を行います。在宅看取りの相談が出来る場所もあります。

他にも利用できる福祉サービスや制度があります。詳しいことは患者相談支援センターにお声がけください。

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
一般内科	午前 (予約)				モリ カズヨ 森 一世	
	午前				カワシマ チエユ 川島 智恵子	
循環器内科	午前	ナカノ タカヒデ 中野 考英(北関) (第1,3,5週)	マツオ ヤエ 松尾 弥枝(北関) (第1,3,5週)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治 (第1,3,5週) (予約制)		ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治 (第2,4週)	イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2,4週)	クリハラ ジュン 栗原 淳(心血セ) (第2,4週)	ナカシマ クニキ 中島 邦喜(北関) (第2週)	
脳神経内科	午後		クロサワ リョウジ 黒澤 亮二(太記)			ミチザキ ヒトシ 道崎 瞳(群大)
	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	ヤマザキ マサフミ 山崎 征史(群大)	クワコ トモヒト 桑子 智人	シン ユウキ 申 悠樹	クワコ トモヒト 桑子 智人
呼吸器内科	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	ムラタ ケイスケ 村田 圭祐	ツチヤ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 覚
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	オオサキ タカシ 大崎 隆	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘
	午前		タケダ リョウヤ 竹田 亮哉(群大)			
	午前から 14時迄	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣		オチアイ マイ 落合 麻衣
	午前				ホシノ ユウキ 星野 裕紀(群大)	
	午前				井上 俊	
内分泌・ 代謝内科	午前				ショウダ ヨシヒト 正田 純史	オオサキ アヤ 大崎 綾
	午後	オオサキ アヤ 大崎 綾	ショウダ ヨシヒト 正田 純史 (14:00~)	ヤマダ マサノブ 山田 正信(群大) (第1週 14:00~)		ヤマダ マサノブ 山田 正信(群大) (第3週 14:00~)
	午後			オオサキ アヤ 大崎 綾		
小児科	午後			イノウエ フミタカ 井上 文孝(重心)		
	午後				井田 久仁子 (小児神経)	
	午後	井田 久仁子 (小児神経)				
血液内科	午前			ネチイ ヨシミ 根生 義巳		
	午後 (予約)			ヤナギサワ クニオ 柳澤 邦雄(深谷赤十字) (第2週)		
	午前	カナヤ シュウヘイ 金谷 秀平	イノウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午前	サイトウ アキオ 斎藤 明生	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イノウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	イソダ アツシ 磯田 淳	サイトウ アキオ 斎藤 明生
消化器内科	午前	イノウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	ネチイ ヨシミ 根生 義巳	カナヤ シュウヘイ 金谷 秀平	イノウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大)
	午前	ナカジマ ヨシミ 中島 良実	サトウ ヒロコ 佐藤 洋子	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	ムラカミ タツ真 村上 立真(群大)	ナカモト トモカズ 成瀬 智康
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ コウ 小林 剛		ホシノ シュンヤ 星野 隼矢	コバヤシ コウ 小林 剛	ホシノ シュンヤ 星野 隼矢
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マヅマ タケヒコ 間島 竹彦	マヅマ タケヒコ 間島 竹彦		マヅマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	マツウラ マサナ 松浦 正名	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也
	午後	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也	カミヤマ タクヤ 神沼 拓也
	午前	ナカムラ ユウジ 中村 勇司				
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆			ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆
	午後			セキモト ケンイチ 関本 研一 (ペインクリニック外来)		

外来受付時間8時30分~11時00分 注)担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診察は原則完全予約制です。

※整形外科、歯科口腔外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。

※第1・3・5水曜の循環器内科は完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15時までとなります。

※(予約制)と記載がある場合は、予約患者さんのみの診察となります。

※再診予約の方については16時まで再来受付機での受付が可能です。

※やむを得ない事情により突然の休診や診療医師変更もございます。ご了承ください。

◎予約変更について 受付時間:平日13~17時 TEL.0279-26-3010(予約専用) TEL.0279-23-1010(代表)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
消化器外科	午前	マキダ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	タナシ ヨシフミ 棚橋 美文 ★助川 シンサク 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1,3,5週13:30~)	マキダ フジオ 蒔田 富士雄	タナシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後		カモシロ ヨシフミ 嶋下 崇史			
	午前		エノキダ ヤスアキ 榎田 泰明		ヌマガ ユキ 沼賀 有紀	
	午後				術前外来	
	午前				イチオカ ケン 市岡 健	
呼吸器外科	午前	オノザト リョウイチ 小野里 良一 (第1,3週)※予約のみ		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
	午前			オノザト リョウイチ 小野里 良一 アツミ ジュン 渥貫 潤		オノザト リョウイチ 小野里 良一 アツミ ジュン 渥貫 潤
脳神経外科	午後			ヒラト マサフミ 平戸 政史 (予約)		ミヤギシマ タカアキ 宮城島 孝昭
	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	[予約制] タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	[予約制] タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後		オオサワ ショウ 大澤 祥(群大)	ミヤギシマ タカアキ 宮城島 孝昭		イベ ヨウコ 伊部 洋子(群大)
	午前 午後(予約)		ヒラト マサフミ 平戸 政史		ヒラト マサフミ 平戸 政史 ヒラト マサフミ 平戸 政史	
ニューロ モデュレーション外来	午後			★ニューロ モデュレーション外来 14:00~		
整形外科 (予約制)	午前	フリタ トシロウ 割田 敏朗	モリモト カズノリ 森本 和典		カナザワ サエ子 金澤 紗恵子	
	午後					オカムラ コウイチ 岡邨 興一 [リウマチ専門外来]
	午前			モリモト カズノリ 森本 和典	術前外来	
	午前 午後	カナザワ サエ子 金澤 紗恵子 ハンドケア	術前外来	イヅカ ヨウイチ 飯塚 陽一 イヅカ ヨウイチ 飯塚 陽一	モリモト カズノリ 森本 和典	フリタ トシロウ 割田 敏朗
泌尿器科	午前	シミズ ヨウサク 清水 湧作	スギノ アキヒコ 杉野 陽彦	マツモト コウキ 松本 昂樹	シミズ ヨウサク 清水 湧作	スギノ アキヒコ 杉野 陽彦
	午後(予約)	マツモト コウキ 松本 昂樹	スギノ アキヒコ 杉野 陽彦		シミズ ヨウサク 清水 湧作	スギノ アキヒコ 杉野 陽彦
	午前	タムラ ヨシメ 田村 芳美	タムラ ヨシメ 田村 芳美	タムラ ヨシメ 田村 芳美	タムラ ヨシメ 田村 芳美	マツモト コウキ 松本 昂樹
	午後(予約)	タムラ ヨシメ 田村 芳美	タムラ ヨシメ 田村 芳美	タムラ ヨシメ 田村 芳美	タムラ ヨシメ 田村 芳美	タムラ ヨシメ 田村 芳美
	午前10~ 12時	フジツカ ユウジ 藤塚 雄司(群大)				
耳鼻咽喉科	午前			オカモト アヤコ 岡本 彩子		オカモト アヤコ 岡本 彩子
皮膚科	午前	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美
	午前	フカツ リカ 深津 里佳	フカツ リカ 深津 里佳	フカツ リカ 深津 里佳	フカツ リカ 深津 里佳	フカツ リカ 深津 里佳
乳腺・内分泌外科	午前		ヨコエ トオル 横江 隆夫	ヨコエ トオル 横田 徹		ヨコエ トオル 横江 隆夫
	午後(予約)			ヨコエ トオル 横田 徹		
	午前	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコエ トオル 横田 徹
	午後(予約)		ヨコエ トオル 横田 徹		頭皮冷却サイジング	ヨコエ トオル 横田 徹
	午前 午後		サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ トオル 横江 隆夫	リンパケア外来	リンパケア外来
眼科	午前 午後(予約)		グンダイイシ 群大医師	グンダイイシ 群大医師		
	午前	アサトリ ヨウスケ 朝鳥 洋介(群大)				
歯科口腔外科 (予約制)	午前(初診)	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀 オオシマ カズキ 大島 主基(群大)	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀
	午後(再診)	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀		ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀	ネギシ アキヒデ 根岸 明秀

# セカンドオピニオン担当医表

独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター（令和8年4月1日現在）

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	吉井 明弘		吉井 明弘		
呼吸器外科	午前中	川島 修				
血液内科	午後2時～			斉藤 明生		入内島 裕乃
乳腺・内分泌外科	午後2時30分～			佐藤 亜矢子		
消化器外科	午後				吉成 大介 沼賀 有紀 榎田 泰明	
放射線科	午後3時～		中村 勇司	神沼 拓也	松浦 正名	
皮膚科	午後3時～	高橋 亜由美				
泌尿器科	午後3時30分～					田村 芳美
脳神経外科	午後			宮城島 孝昭		

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,500円  
 ※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

## ●患者さんの権利●

### 1. 最善の医療サービスを受ける権利

患者さんは差別されることなく、適切な医療を受ける権利があります。

### 2. 人格・人権を尊重される権利

患者さんは個人としての人格・人権を尊重され、医療を受ける権利があります。

### 3. 知る権利

患者さんは、自分が受ける処置や検査、治療に関して、十分な分かりやすい説明を受ける権利があります。また、知らせてもらいたくないことについては、その希望も受け入れられます。

### 4. 自己決定権

患者さんは、十分な情報と説明に基づいて、自分の意志により医療行為を決定する権利があります。

### 5. プライバシーを保護される権利

患者さんの診療上の情報はその秘密が守られ、第三者には開示されない権利があります。

## がん相談支援センター

●がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。

担当:ソーシャルワーカー

電話:0279-23-1010代(受付時間は平日8:30～17:15です)

●メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。

E-mail:207-ShibukawaMC\_mbx@mail.hosp.go.jp

## 看護の理念

患者さんの立場にたち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します

## 看護の基本方針

1. 患者さんの尊厳と権利を尊重し、共に考える看護を実践します
2. 患者さんの気持ちに寄り添い、思いやりとまごころを込めた看護を実践します
3. 根拠に基づいた、安全で安楽な質の高い看護を実践します
4. 地域の人々と連携を図り、患者さんの生活の質の維持・向上に努めます

## 編集 後記

本号(No.121)より編集後記を担当することとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。私事ですが、開院から4年勤務し6年振り2度の赴任です。前回共に働いた仲間の何人かと再会もでき、偶然を超えた深い縁を感じています。久しぶりの渋川市内は、駅前広場のロータリーがリニューアルし洗練されていたり、渋川伊香保インターを降りて国道17号中村交差点の立体化が進んでいたりと、着実に進化を感じました。当院も皆様のお力添えの元、10周年を迎えることが出来、改めて感謝申し上げます。

さて、当院では4月1日に新採用者40名、異動者24名の仲間を迎えました。当院の基本方針の一つである「患者さんの気持ちに寄り添った医療の実践」に向け、職員一同努力を続けて参ります。今後も渋川医療センターをよろしく願っています。(H・M)



独立行政法人国立病院機構 **渋川医療センター**

〒377-0280群馬県渋川市白井383番地 電話0279-23-1010代 FAX0279-23-1011  
 【ホームページ】<https://shibukawa.hosp.go.jp>